

ニューズレター雪氷北信越

No. 28 平成4年11月10日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

理事・幹事合同会議報告／シンポジウム報告／学習会報告・案内／
研究会案内

報告

平成4年度第2回理事・幹事合同会議報告

平成4年10月29日(木)15時40分より、長岡技術科学大学機械系会議室に於て、本年度第2回理事・幹事会が開催された。梅村支部長の挨拶に始まり、前回理事幹事会議議事録の確認と平成4年度支部総会の報告が行われた。次に人事異動に伴う支部役員の一部変更が報告された。続いて本年度の支部の学習会、講習会等の事業計画の検討と進捗状況が報告された。技術部会のうち、屋根雪処理部会は終了し、その報告書を作成中であることが梅村主査から報告された。また本支部主催の「雪崩予知予防長岡国際シンポジウム」が9月に長岡市で開催され大盛況であったことが早川実行委員長から報告された。IGS長岡シンポジウムについても、支部会員の尽力に寄って成功裡に閉会し、参加者(海外を含む)から礼状が多数寄せられている事等の報告が中村実行委員長からあった。次に梅村支部長から来年3月に小千谷市で流雪滑シンポジウムが小千谷市・雪氷学会・雪工学会の共催で行われることになった旨の報告があった。最後に支部に選考委員会を設置することとなり、審議の後、選考委員として前および現支部三役+福井・長野の理事各1名が選出された。この委員会では支部からの本部理事推薦をおこなうこと、また次期支部役員案を次の理事会に提出することとなった。さらにこの委員会は支部賞の選考委員会も兼ねることが承認された。

報告

雪崩を知る・予知する・予防する・長岡国際シンポジウム 開催報告

本支部主催では初めての国際シンポジウムとして去る9月11・12の両日ハイブ長岡で開催された。シンポジウムはフランス、スイス、カナダおよび米国からの講師6人と国内講師の3人による講演と、パネル

ディスカッションよりなり、日本とは事情を異にする各国の雪崩管理対策が披露され、また日本でのこれからの雪崩管理対策のあり方について、熱心な議論が繰り広げられた。観衆は官、学、民にわたり、また北海道から西日本にかけての広い地域から参集して、総数430人の盛況であり、熱のこもった質問や討論が観客席から投げかけられた。日本の雪崩管理対策の新しい将来を考えさせる契機と成るべきシンポジウムであった。

本支部では当シンポジウムの編集委員会を組織しシンポジウム論文集の発行を年内に計画中。
(早川理事記)

報告

富山地区学習会報告

9月24日富山大学において、富山地区学習会が開催された。講師の山形大学理学部矢野勝俊助教授から「樹氷」について、蔵王に樹氷が出来る地理的、気候学的環境、樹氷の生態をビデオで用いて紹介されたが故阿部先生の説明に樹氷研究の歴史を忍んだ。また蔵王に皇太子をお迎えし樹氷の説明をされた体験談、新しく山形にオープンした博物館における樹氷の展示にいたる裏話など夜6時から8時まで樹氷研究の最先端を歩む同講師ならではの数々の興味深い話をされた。参加者25名。

対馬 理平 記

報告

新潟地区学習会の報告

新潟地区では、上越市の北陸農業試験場で9月30日の16時から17時30分にかけて「昭和基地の自然と生活」と題して学習会を開きました。当日は南極観測第31次越冬隊員として1990年1月から1991年2月まで、昭和基地で気水圏部門の研究観測に従事された中川清隆会員（上越教育大）より、主として日射観測の結果についての報告がありました。また、南極の雄大で美しい自然と越冬生活の様子をスライドとビデオで紹介していただきました。

参加者は26名で、終了後は簡単な懇親会を行いました。

(高 見 晋 一)

案内

新潟地区学習会のお知らせ

日 時 12月2日(水) 16時00分～17時30分

場 所 北陸農業試験場 上越市稲田1丁目2-1
(TEL 0255-23-4131)
信越本線高田駅下車
バス番町、岡田又はリージョンプラザ行
稲田2丁目下車

話 題 「国際雪科学ワークショップに出席して」

大野宏之会員(北陸農試)は、1992年10月4日から10月8日までコロラド州ブリッケンリッジ(USA)で開かれたInternational Snow Science Workshopに参加されました。そこで今回は同会議の様子とその後の旅程の一端をスライドをまじえて報告していただくになりました。大勢の皆様の御参加をお待しています。

連絡先 北陸農業試験場 地域基盤研究部 気象資源研究室
高 見 晋 一 TEL 0255-23-4131

お願い

『ニューズレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニューズレターを発行いたします。原稿を、下記の書式(できるだけワープロ原稿)で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

※書式 A4、左右マージン25mm 1行: 約32文字(字間: 約2.5mm)
行間: 約5.5mm(行数の制限は設けないができるだけ手短かに)

ニューズレターに関するお問い合わせは

長岡技術科学大学機械系 東信彦 電話0258-46-6000 内線7120 まで

研究会

雪水防災研究会及び雪水防災研究連絡会の開催について

長岡雪水防災実験研究所は、新潟県と共催して第17回雪水防災研究会及び第6回雪水防災研究連絡会を開催致します。皆様奮って御参加下さいますよう御案内致します。

◎第17回雪水防災研究会「雪と氷を予測する」

日 時 : 平成4年12月3日(木) 9:15～17:00

場 所 : 新潟県庁 講堂

話 題 :

新潟県内における地点降雪量予測…日本気象協会新潟センター 近藤精治
道路の降雪予測 ……建設省長岡国道工事事務所 羽毛田一則
積雪域の路温特性と路面凍結の予測

長岡雪水防災実験研究所

清水増治郎

新潟県における雪崩予測調査…新潟県土木部砂防課

高橋幸彦

雪崩・雪泥流を予測する…新潟大学積雪地域災害研究センター

小林俊一

山地積雪の予測に向けて …北陸農業試験場

横山宏太郎

融雪と融雪出水現象の解明に関する最近の進歩

長岡技術科学大学

早川典生

気候モデルによる温暖化予測と温暖化の雪水圏への影響

気象研究所気候研究部

時岡達志

地球温暖化による雪水圏変動の予測

長岡雪水防災実験研究所

中尾正義

今回は北信越地方在住の講師の他に日本のGCM(大循環モデル)研究の第一人者である気象研究所の時岡達志先生を講師としてお招きし、温暖化予測についてもお話して戴く予定です。(終了後、懇親会(3,000円)もあります。)

◎第6回雪水防災研究連絡会

日 時 : 平成4年12月4日(金) 9:15～15:00

場 所 : 新潟県庁 講堂

内 容 : 関東、北信越以西における雪水分野の様々な研究機関が実施している研究内容を相互に紹介し合うものです。

問合せ先 〒940 新潟県長岡市栖吉町前山187-16

長岡雪水防災実験研究所 清水増治郎・東 久美子

TEL: 0258-35-7522, FAX: 0258-35-0020